



学校給食の中の牛乳って？

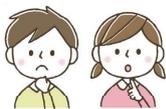


今年度から調布市でも学校給食の牛乳がガラス瓶から紙パックに変わりました。保護者への周知も遅く、生活者ネットが急遽今年2月10日に行った「牛乳カフェ」には8人が参加し、容器のことに限らず学校給食の牛乳について、多様な思いを語り合いました。(別表参照)

生活者ネットはリユースできるビン牛乳を今後も使うことを要求したいと考えており、今後に向けて市民とも行政とも話し合いたいと考えています。

一方で、コロナによる突然の一斉休校では「学校給食がなければ一日の栄養バランスが取れない子どもたちがいる」と学校給食の必要性が話題になりました。戦後の食糧難の中で「せめて子どもたちが一食は食事を取れるように」と始まった学校給食ですが、

2009年には「食について考えさせる食育」を目的とする法改正が行われました。



学校給食の中で、牛乳はアレルギー問題も含めて常に議論的となってきました。今回は学校給食自体を考える会を企画したいと思います。

● ビンと紙パック ●

- ビンは落とすと割れるから子どもは紙パックがいいと言う。
- 倒れてこぼした時のアレルギーは大丈夫か？
- ビンはリユース。何回も使用できて、業者が持ち帰っている。
- 紙パックを洗う手間と時間や焼却費用はもったいない。
- ストローがプラごみとして問題になっているのに。
- リサイクル出来て費用負担が無い方を。

● そもそも ●

なんで牛乳？

- ご飯にみそ汁に牛乳？「私にOK」と言う人もいます。
- 牛乳ではない飲み物でいいのでは？
- 牛乳のカロリーと栄養は他では取れないの？
- 管理栄養士さんや先生はどう考えているの？行政の説明がほしい。



～調布は女性が暮らしやすいまち？～ 女性の安全・安心自治体調査



日本のジェンダー平等(社会的性差の解消)は大きく立ち遅れています。女性被害者がバッシングされる人権無視の性暴力事件、子ども虐待とも関係の深いDV(配偶者や恋人などからの暴力)、セクハラなど、女性への暴力について自治体が担う役割を私たちは意識しているでしょうか。

生活者ネットワークは「女性の安全・安心自治体調査」を行い、6月に結果を公表しました。セクハラやDV、性暴力についての都内各自治体の施策を調べ、女性にとって暮らしやすいまちかどうかを数値化してランキング。調布市は100点満点中34点で27番めでした。

東京には女性への暴力根絶や被害者支援に取り組む民間団体があり、現場では民間団体や専門家のたゆまぬ努力で支援が続けられています。自治体の役割としてこれを公的な支援に位置づけ、広域での相談・支援のワンストップセンター設置や研修の充実とともに、警察では女性警官が対応すること、子ども時代からのジェンダー平等教育の実施などが重要です。

女性が暮らしやすいまちは誰もが暮らしやすいまち。そんな東京、調布にするため、この調査をもとに働きかけていきます。



6月11日に行われた調査結果の記者発表の様子

活動報告

- 5/6 生活保護問題対策全国会議主催
生活保護問題オンライン議員研修会
- 5/13 川田龍平参議院議員主催
「在来種保全・活用法案」の記者会見(zoom)
- 5/15 調布市議会第一回臨時会(緊急)
- 5/23 生活保護問題オンライン研修会(実践編)
- 6/5 調布市議会第二回定例会開会日
- 6/9 一般質問
- 6/10 調布市深大寺佐須地域農業公園計画説明会傍聴
- 6/17 調布市議会建設委員会審査
- 6/24 第二回定例会閉会日(補正予算第4号反対討論)



- 7/11 都議会議員補欠選挙報告集会@調布駅前
- 7/12 調布市緑と公園について考える市民ワークショップ
前川喜平さんウェビナー
「新型コロナが露わにした教育行政の事大主義」
- 7/15 生活者ネットワーク子ども部会zoom学習会
「インクルーシブ教育に向けた作業療法士の活用」
- 7/18 内田良の学校かえるチャンネルzoomイベント
「コロナ禍の子どもの教育と教員の働き方改革を問う！」
- 7/23 府中ネット主催「5G次世代通信規格について学習会」
- 7/25 ドゥマンジュ恭子都議会議員補欠選挙報告会
市民と議員の条例づくり交流会議「コロナ禍持久戦に備えよ」
- 7/29 調布市避難所開設訓練視察(三小)
- 7/31 調布市子ども・子育て会議傍聴

詳しい活動報告は
ブログでも

